

(議事1) 今年度事業の経過報告について

平成15年10月9日
実行委員会事務局

1. 実行委員会主催事業

(1) プレイベント「美の国あきた市民音楽祭」終了

平成15年8月2日(土)秋田県民会館において、秋田市建都400年記念事業実行委員会主催のプレイベント「美の国あきた市民音楽祭」を開催した。

鑑賞希望者を募集したところ、入場希望者枠1,839人に対し、4,341人から応募があり、当日は、約1,720名が会場に詰めかけた。

特に、特別出演のウィーン・オペレッタ管弦楽団と秋田市管弦楽団、約150名の小学生による「ふるさと」の合奏は、多くの市民に夢と感動を与えた。また、終了後には会場の外で秋田市竿燈会による竿燈妙技も披露され、音楽祭の成功に花を添えた。

プログラム

オープニング：竿燈囃子(秋田市竿燈会)

新・秋田音頭(土崎南小)

第一部：合唱(秋田少年少女合唱団、明德小、中通小、広面小、秋大附属小)
歌曲(長谷川留美子)

第二部：オーケストラ演奏(秋田市管弦楽団、ウィーン・オペレッタ管弦楽団)
両オーケストラによる合同演奏

事業費 6,267千円

(2) プレイベント「秋田市歴史シンポジウム」15年11月

佐竹氏秋田入部から久保田城入城、先進的町割りなど、400年を起点としたまちづくりを中心に、パネリストそれぞれの視点から、先人が築いた歴史について論じるとともに、未来の秋田市について考え、新たな歴史の創造に向けたメッセージを発信するシンポジウムを開催する。本市の歴史・文化に触れ、学ぶことができる機会にするとともに、自らが暮らすまちを再認識しながら未来のまちの姿を考察する機会とする。

日時：平成15年11月24日(月)14:00~16:00

場所：三井アーバンホテル秋田

パネリスト：秋田市史編さん委員

新野直吉氏 元秋田大学長(コーディネーター)

小林達雄氏 國學院大学教授

羽下徳彦氏 東北大学名誉教授

伊藤隆氏 政策研究大学院大学教授

井上隆明氏 前秋田経済法科大学学長

入場料：無料(事前申込制：定員300名)

事業費：約3,000千円

(3) イベントカレンダーおよびポスター制作

7月25日(金)に佐竹敬久市長、賢木新悦委員、竹島仁子委員の3名でカレンダーおよびポスター制作の発表を行ったほか、秋田市の広報あきた(8月8日号)や無料情報誌「Ra・shi・ku」「あるる」「郷」などに掲載し、宣伝してきた。

【カレンダー】制作部数 10,000部

秋田県書店商業組合を通じて、県内の書店で販売しているほか、秋田市や秋田観光コンベンション協会が、秋田市竿燈まつりやイベント「美の国あきた市民音楽祭」など各種イベントで販売してきており、これまで約7,000部の売り上げがあった。



【ポスター】制作部数 1,000部×3種類

市役所の施設内への掲示を皮切りに、これまで市内の各商店街や姉妹都市、県内の市町村や商業施設などのほか、県内資本の金融機関については全国の支店へ掲示を依頼している。



(4)漫画「(仮称)秋田市400年ものがたり」制作 15年度～16年度

1. 基本的スタンス

幅広い世代を対象

小学生から大人まで読むことが出来るようなストーリー展開を図る。専門用語や説明が必要な事項など漫画で描写できない部分についても、注釈や補完説明の頁を設けるなど、可能な限りフォローアップに努める。

教材的なものではなく、気軽に読むことができるものを。

漫画は、多くの市民が自らが暮らすまちの歴史・文化等について気軽に触れる「きっかけ」として適した手法の一つであると考え。その特徴を最大限活かすため、史実を淡々と伝える教材的なものではなく、ストーリーのなかで読者それぞれが本市のルーツに関する意識を深めるものとする。

史実とフィクションとの棲み分けを。

原則として、史実と異なる内容とならないよう、三者(原作者、作画者、監修)によるシナリオおよび作画の十分な検証、整合性の確認等を経て完成を目指す。しかしながら、当時の会話や登場人物の心理描写など、ストーリーの演出上必要な部分については、独自に脚色を加える。

2. 事業概要

制 作：秋田市建都400年記念事業実行委員会

発 売 元(予定)：秋田魁新報社

サ イ ズ(予定)：A 5 (210×148mm)版 約200～220頁(一部カラー)

刊行時期(予定)：平成16年7月上旬

市内図書館や学校等へ配付するほか、県内書店等においても販売する。

3. 制作スタッフ

原 作：土居輝雄(歴史作家)

作 画：倉田よしみ(漫画家)

監 修：秋田市、秋田魁新報社

4. 事業費

制作費 3,800千円(平成15年度予算で措置)

出版費 未定 (平成16年度予算で対応)

(参考)漫画の構成

プロローグ(現代)

第1話=常陸の霸王

第2話=国替え

第3話=藩都の建設

第4話=続・藩都の建設-慶長国絵図

第5話=新旧の葛藤

第6話=米と秋田藩の経済

第7話=曙山の実像

第8話=感恩講由来

第9話=佐竹三十六歌仙とエピローグ

5. ストーリー概略(現時点での進行案)

現代、東京都台東区の佐竹商店街の食堂で偶然知り合った秋田市生まれのテレビ局ディレクター石塚源一郎と、茨城県常陸太田市生まれのOL石塚玉江。互いに話をするうち、同じ姓を持つ2人には佐竹氏にまつわる「縁」があることが判り、その源流に想いを馳せることから始まる。

常陸時代から秋田への国替え、久保田城下のまちづくりや経済・文化といった10のエピソードを軸に、今日私たちが暮らす「まち」の400年を辿る物語。

(5)市民クルーズ（仮称） **16年度（15年度から計画策定開始）**

来年、株式会社農協観光秋田支店が主催・実施する豪華客船「飛鳥」による石川県・七尾市へのクルーズを、建都400年に因み、江戸期の秋田における重要な海運であった北前船を現代に甦らせる「市民クルーズ（仮称）」と称し、その船内において、建都400年記念事業実行委員会の主催イベントを実施する。

15年度は、建都400年を記念した講演会やパネル展など、実行委員会主催イベントの内容について、農協観光など関係機関と協議を進めるとともに、先月、体験乗船した実行委員を中心に、今後イベント部会において検討することとする。

開催日：平成16年9月10日（金）～12日（日）

寄港先：石川県七尾市・七尾港

主催：株式会社農協観光秋田支店

参加者数：540名（予定）

事業費：未定

飛鳥の運航に要する経費：(株)農協観光の負担

船内で行う建都400年関連イベント：実行委員会の負担

（参考）「飛鳥」プロフィール

日本を代表する豪華客船。竿燈・ねぶた祭りクルーズや世界一周クルーズなどの実績がある。

全長192.8m、総トン数28,856t、客室数296室、乗客数592名。

2. 補助事業および関連事業

(1) 佐竹氏歴史探訪ウォーク 終了

湊城から久保田城下までの道のりを辿り、秋田市内のいにしえを肌で感じ、思いを馳せるウォーキングを中心としたウォーキングイベントを開催した。

開催日：平成15年5月24日(土)～25日(日)
場所：24日 土崎湊城跡 千秋公園二の丸
25日 久保田城下めぐり
主催：秋田歩け歩け実行委員会
参加者数：延べ約400人
事業費：3,600,000円(うち実行委員会からの補助 1,200,000円)

(2) 久保田城下まつり『ジヨヤサ』 終了

秋田市建都400年のプレ年に際し、産・学・官一体となって、市民に、待ちに、そして商売に活力を呼び戻すことを目的に、「秋田の歴史を学ぶ」「元気に生きる」「新時代を担う」「職人味・技」の4つの企画からなる「久保田城下まつり『ジヨヤサ』」を開催した。

開催日：平成15年9月27日(土)～29日(月)
場所：ぼぼろーど、アトリオン、秋田ビューホテル、秋田大町ニューシティ
主催：秋田商工会議所
参加者数：延べ3,200名(アトリオン・ぼぼろーど等の回遊客は含まず)
事業費：約8,500,000円(うち実行委員会からの補助 2,000,000円)

(3) 郷土創作オペラ公演「久保田城下町 押し花の愛」15年10月

建都400年を記念し、総合芸術であるオペラを制作することにより、市民の芸術創作活動の向上を図るものである。音楽ファンのみならず、芸術文化活動に興味関心を持っている市民から温かく迎えらるる公演とするため、出演者の公募を行う。

開催日：平成15年10月25日(土)～26日(日)
場所：秋田県民会館大ホール
主催：秋田市文化団体連盟
補助費：秋田市より補助あり(補助額5,000千円)

(4) 「あなたの町のベストテンBS日本のうた」公開収録15年11月

開催日：平成15年11月20日(木)
場所：秋田市文化会館大ホール
主催：NHK秋田放送局、秋田市、秋田市建都400年記念事業実行委員会
経費負担：約50万～70万(会場使用料・受付等の人員動員〔事務局員・サポーターで対応〕)

3. その他

(1) 秋田市建都400年記念事業サポーター 15年7月～

秋田市建都400年記念事業を推進するにあたり、市民の意識と関心を高めるとともに、記念事業への市民参加の一つの手段として、また、円滑な事業の運営を図ることを目的として、今年7月より市民サポーターを募集している。

今後は、「秋田市建都400年記念事業サポーター」運営要綱にもとづき、15年度～16年度に開催される各種事業・イベント等において、会場の受付・案内等に従事する。

申請および活動状況

1. 申込状況（10月1日現在）申請者数 37名（男性11 女性26）
平均年齢 54歳（最年少24歳～最年長76歳）
2. 活動実績：(8/2)美の国あきた市民音楽祭 3名（カレンダー販売）
(8/25)エルマー・スラム講演&ピアノコンサート 1名（カレンダー販売）

1. 委嘱状交付式・説明会について

日時：平成15年10月23日（木）13：15～14：00

場所：秋田市役所2階 正庁

2. 今後の活動予定

参加予定イベント（15年度）

- (1)平成15年11月20日（木）「BS日本のうた」（主催：NHK 秋田放送局、秋田市、実行委）
- (2)平成15年11月24日（月）「秋田市歴史シンポジウム」（主催：建都400年記念事業実行委）

来年度以降は、実行委員会の主催による一連の記念事業のほか、要請があれば、民間が企画・運営する400年記念事業への派遣も検討する。なお、サポーターが行事に従事する際は、活動補助費として2,000円を補助するとともに、傷害保険に加入する。

3. サポーター・ワークショップの開催（12月以降）

来年の記念事業本番に向け、サポーターの自発的意識を高めるとともに、運営に関する意見等を参考とするため、サポーター数名で構成するワークショップ（希望制）を月1回ペースで開催する。

（議題案）

- Tシャツ等の制作（デザイン等について、自ら検討・制作してもらう）
- サポーター運営に対する提案・アイデアなどの意見交換会
- 草の根キャンペーン的活動（サポーター自身が広告塔となる）に関する提案